

ボールの特性レポート BALL REPORT



ボール名 ベノム・ヒステリア	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.480	△RG 0.034	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：ベノム・ヒステリア

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

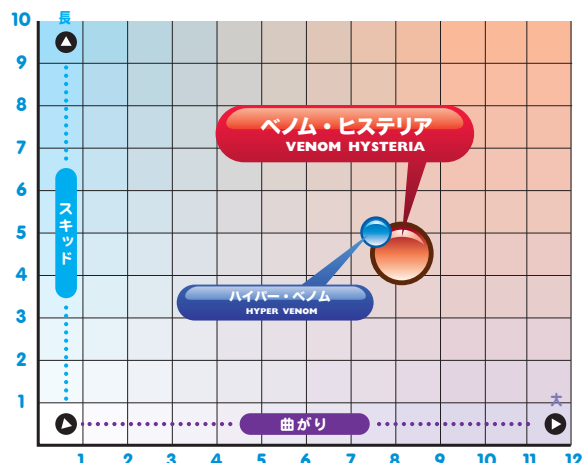
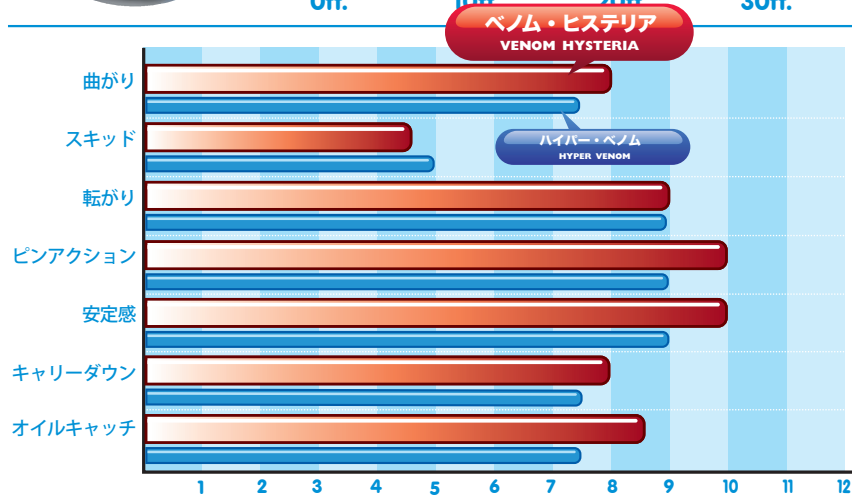
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：ハイパー・ベノム

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



ボールの評価

長年にわたり高い評価を受け続けてきたMOTIVの代表的シリーズ「VENOM」。その信頼性と実績に、最新テクノロジーを融合させて誕生したのが今回のVENOM HYSTERIAです。本作は、2025年ボール・オブ・ザ・イヤーに輝いたEVOKE HYSTERIAと同じカバーストック「Propulsion MXV(Maximum Versatility) Pearl」を採用しており、VENOMシリーズの新たな可能性を示すモデルと言えるでしょう。Propulsion MXVパールカバーは、手前でのスムーズなスキッド性能とオイル上での確かなトラクションを高次元で両立した素材です。パール素材特有の走りを活かしながらも、ミッドレーンではレーンをしっかりと捉え、ドライゾーンではコントロールされた力強いリアクションを生み出します。そのバランスの良さにより、ハウスコンディションからトーナメントパターンまで幅広い状況で高い汎用性を発揮します。コアには、VENOMシリーズの象徴とも言える「Gear Core」を搭載。このコアは回転の立ち上がりが高くミッドレーンで安定したレーンリーディングを生み出す一方、過度なフレアを抑えることでボールのエネルギーを無駄に消費しません。その結果、必要なタイミングでスムーズに動き出し、ピンに向かって力強く進み続ける安定した軌道を描きます。このGear CoreとPropulsion MXV Pearlの組み合わせにより、VENOMシリーズ特有の“読みやすさ”と“コントロール性能”を継承しながら、従来モデルよりも強いトラクションと明確なバックエンドリアクションを実現しています。シリーズ内では、VENOM SHOCKよりも奥の動きがはっきりとしながら、NEBULAほど鋭角で攻撃的にならない絶妙なポジションに位置付けられるモデルと言えます。特にEVOKE HYSTERIAではキャッチが強すぎると感じる場面において、そのリアクションをややマイルドに再現できる点は大きな魅力です。

特記事項

VENOMシリーズが培ってきた高い信頼性と、EVOKE HYSTERIAが証明した最新カバーテクノロジー。その二つの融合は、安定感の中にしっかりとバックエンドの力強さを備えたシリーズの完成度をさらに高める一球と言えます。